

しば子先生の

ミニニ 芝生教室

第115回 カタビラ2



先生：前は北海道に行ったところだったわね・・・とあるコースのケンタッキーブルーグラスのナーセリーに連れて行かれたわ・・・春先できれいにブルーグラスが広がる数百平米のナーセリーなのだけど、ブルーグラスが小さなコロニー化していてそれぞれのコロニーの間に隙間があったわ・・・

生徒：なるほど・・・若干まばらなブルーグラスのナーセリーなんですね・・・

先生：そう・・・その状態自体は特に何も問題ではないんだけど、そのキーパーさんが言うには、このナーセリーはフェアウェー用のブルーグラスのナーセリーなんだけどあまりにもカタビラが増えてしまって使えないのでラウンドアップを撒いて全部枯らして種を蒔き直そうと思っていたところ、新しい除草剤の試験を依頼されたのでダメ元で昨年の秋にそれを撒いたらこの状態になったというのよ・・・

生徒：えっ・・・マックワンをカタビラだらけのブルーグラスのナーセリーに秋に撒いたら、春にはカタビラだけ無くなってきれいなブルーグラスのナーセリーになってしまったと言うことですか！

先生：そうなのよ・・・私もびっくり・・・ブルーグラスはとても元気で生き生きしてて薬害は全くなかったの・・・その上カタビラが一本もなかった・・・

生徒：すごい効果ですね・・・

先生：そうね・・・その時代に洋芝に使えるカタビラ用除草剤は芝生に安全な薬剤はカタビラへの効果も今ひとつ・・・カタビラへの効果が優れている物は芝生にもリスクがある物が多かったからこんなにはっきりした結果が出たのはとても驚いたわ・・・

生徒：それならすぐ売れるんじゃないですか・・・？

先生：私もそう思ったわ・・・でもそうそう単純な話でもないことがその後いろいろわかったのよ・・・

生徒：そうなんですか・・・私には魔法の薬のような気がします・・・

先生：確かに今までに無い安全性と効果という意味では魔法の薬ともいえるかもしれないけど、ビジネス的にはちょっと違うのよ・・・まず洋芝コースのフェアウェーやラフに使えばカタビラの無いきれいな洋芝コースが作れると思ったんだけど、北海道のような涼しい地域では80～90%が力

タビラで占められていて、薬が効いてカタビラが無くなったら裸地化してしまって営業できなくなるわ・・・それに日本芝のコースと違って定期的に除草剤を全面に撒く習慣が元々無いので新たに毎年数百万円の予算を取れるコースはとても限られているし・・・日本の洋芝コース数は全体の1割ほどしか無いからマーケットとしてはとても限られているのよ・・・

生徒：なるほど！確かにその通りですね・・・優れた効果があるからといってすぐにビジネス的に成功するわけでは無いんですね・・・

先生：そうなのよ・・・それで考えたあげくベントグリーンの中のカタビラ専用除草剤として開発する方向に切り替えたのよ・・・

生徒：なるほど・・・ベントグリーンにとって大敵なカタビラならいろいろ予算を使ってでも無くしたいと思う人は多いでしょうし、それにほとんどのコースはベントグリーンだからマーケットも広い・・・

先生：そうね・・・でもフェアウェー用のケンタッキーブルーグラスと違って刈高も低い芝生の条件も厳しいから本当にベントグリーンで薬害が出ないか心配だったわ・・・

生徒：確かにそうですね・・・フェアウェーで薬害が出なくてもベントグリーンなら薬害が出る可能性はありますよね・・・

先生：そこで茨城県の真夏のコースでベントグリーン用のナーセリーで試験をしたの・・・通常使用量1～2cc/㎡のところ、1, 2, 4, 8, 16ccで真夏の8月に試験したわ・・・その年は毎日30度を超えて35度近かったわ・・・1ヶ月後に調査に行ったけどベントのナーセリーは全く変化なし・・・根も掘り取って調査したけど無処理区と何の違いも無かったの・・・

生徒：え～すごいですね真夏のベントに除草剤撒いて何の障害も出ないなんて・・・しかも16倍薬量で！

先生：キーパーさんも驚いていたわ・・・その結果からベントグラスグリーン用の開発を進めたわ・・・そしてなぜこのマックワンがベントグリーンに安全でありながらカタビラには優れた効果が出るのか・・・そしてどのように使えば最高の効果が出るのかを研究したの・・・次回はそれを説明しましょう・・・

しば子先生への質問や励ましのメールはこちらへ・・・
shibako@hugh-enterprise.co.jp

《芝生教室のバックナンバーはこちらから》

